

2018年12月1日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市須和田2-12-3
 fax 047-705-6018
 携帯 090-6310-3294
 メールアドレス
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 Twittr:清水みな子を検索

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.113



来年4月は統一地方選挙 紹介リーフができました



来年4月には、4年に一度の統一地方選挙がたたかわれます。前半の県議選（3月29日告示、4月7日投票）、後半の市議選（4月14日告示、21日投票）となります。私は引き続きがんばります。皆さんの大きなご支援をお願いします。

県議選では、これまでお世話になりました、岡田幸子県議が勇退し、桜井雅人市議団長にバトンタッチします。

市議選では、市民と野党の共闘で勝ち取った村越祐民市長を支える市議団を大きくしようと、現有5議席から6議席に挑戦します。

私は、この4年間、前市長の「市民いじめ」「市民不在」「市民無視」の施策に対して、「公共施設利用料値上げに反対する会」「ギャンブル券売り場に反対する会」などの皆さんと共に運動をすすめてきました。4月に行われた市長選では、「市民にやさしい市長」村越市長を誕生させることができました。村越市



岡田幸子県議から引き継ぐ 桜井雅人市議

1973年市川市若宮生まれ 鬼高在住 45歳
 若宮小 市立四中 渋谷幕張高校卒 大谷大学
 中退 党市川市青年学生部長、「しんぶん赤旗」
 出張所長を歴任 2007年市議会初当選 3期目
 党市議団長 家族 妻

長は、来年4月から、公民館など公共施設使用料を引き下げる条例案を提案し多数で可決されました。また、ギャンブル券売り場設置についても「反対」を表明しました。私は、この流れをもっと強くするために、全力を尽くします。

地域では、要望に基づいて道路のデコボコや、車いすやベビーカーが通らないうちなど、頑張り続けます。

今後も引き続き、北西部地域の緑と自然環境の保全、通学路の安全対策などに頑張り続けます。

るには狭すぎる歩道の改善などを市や県に対して要望してきました。また、交通不便地域である北国分では、地元の皆さんとコミニティバスの運行をめざして運動を進め、来年度、実証実験を行うことになりました。

女性団体のシンポで報告 男女共同参画の現状と課題



11月25日午前、市川女性のつどい連絡会の一企画で、新婦人市川支部が「男女共同参画を前進させるために」差別の現状とこれからの取り組み」と題して、シンポジウムを開きました。

市議会の現状を私が報告。高橋高子弁護士が、女性の相談からみえる現代のジェンダー問題、市男女共同参画課の田中課長が、市の男女共同参画の推進、人権やDVの取り組み、小学校教師の佐藤さんから、道徳教育で出された子どもたちの素

直な意見でみる平等について、新婦人支部の馬場事務局長が、ジェンダー平等をめざす新婦人の取り組みをそれぞれ報告しました。

市議会の現状

私は市議会の現状として、まず女性議員の比率について、話しました。現在7人で16.6%。

全国平均は14.9%ですから、少し上回っている現状です。12年前は9人の女性議員がいました。人口の半数は女性ですから、もっと女性の視点を反映した市政にするためにも女性議員を増やしたいと思います。

選挙にお金がかかりすぎる日本

つぎに、子育て中の若い女性が議員をめざすときに、いくつかのハードルがあることを報告しました。

1つ目は家族(夫さん)の理解を得られるか。2つ目は子育て中であること。3つ目は選挙にお金がかかるということ。供託金は市議は30万円。事務所費、宣伝カーの運行、ポスター・チラシなどにもお金がかかります。日本には、諸外国に比べて異常に高い供託金制度があります。国政選挙で比べると、日本は小選挙区で300万円かかります。海外で一番高いのは韓国で150万円、低いのはニュージーランドで1万5千円です。そもそも供託金制度がないのが、アメリカ、フランス、

ドイツなどで、自由のびのびと選挙活動しています。日本は「べからず選挙法」で、ほとんど制限されている状態です。

議場内での暴言、規則

放課後保育クラブの時間延長を質問した女性議員に対して、「子どもは自分で見るよ」「いつまで子どもを預けておくんだ」という保守系の男性議員がヤジを飛ばしたことがありました。

また、出産に関して、市議会会議規則第2条に「欠席の届出」があり、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができるとなっております。

新春のつどいのご案内

～ぜひ、ご参加ください～

- ☆ 1月20日(日) 午後1時 須和田自治会館
- ☆ 1月26日(土) 午後0時 小塚山研修所2階

《主な活動報告 11月》

☆11月3日 いちかわ市民まつり

今年のいちかわ市民まつりは、快晴のなか、大洲防災公園で開かれました。行徳みこしも元気に公園を練り歩きました。大勢の市民がたくさんのブースを回り、お買い物など楽しみました。



☆11月23日 市川市後援会バス旅行

来年の統一地方選挙を元気にたたかおうと市川市後援会のバス旅行が行われました。岡田幸子県議、バトンタッチする桜井雅人市議、ふたりの市議候補、現職市議と交流しながら、香取神宮や佐原の伊能忠敬記念館など見て回りました。

☆11月24日 12月議会に向けた市政懇談会

12月議会に向けた「市政懇談会」を開きました。条例案や報告事項、代表質問項目など報告し、参加者から意見をもらいました。



様々なご意見は、議会に生かしていきたいと思えます。

☆11月24、25日 市川女性のつどい連絡会

結成から30周年を迎えた市川女性のつどい連絡会は、24日、25日に参加団体が各部屋をつかい、日頃の成果を発表しました。1日目は、基調講演として、評論家の樋口恵子さんが「人生100年 どう生きるか」について、たっぷり2時間、憲法27条「働く権利」に目を向けて生きてきたと話されました。